

情報公開文書

科題名 : 心血管造影における手技中の患者被ばく線量に対する注意喚起への取り組み

研究期間: 臨床研究審査委員会承認日～ ～(西暦)2025年 9月14日

研究開始予定日: 臨床研究審査委員会承認日～

1. 研究の対象

2024年6月1日から2025年3月31日までの冠動脈造影検査、または治療を行った患者さん

2. 研究目的・方法

【背景】

手技中の被ばく線量被ばく線量が多くなると、皮膚に放射線障害が発生するリスクが高まります。診療放射線技師は患者の被ばく線量が多くなった場合、手技中の医者にその旨を通達する運用となっています。冠動脈は様々な方向から観察することができますが、方向が変わることで被ばくする皮膚の位置も変わります。

当院では、リアルタイム被ばくモニター(どこにどれだけ被ばくしたかがわかるシステム)実装の装置と、未実装の装置を所持しています。未実装の装置では、どこにどれだけ被ばくしたかをリアルタイムに確認することができず、被ばく線量の注意喚起の基準は、被ばくの総線量となっています。

装置から得られる情報から、簡便に推定最大皮膚線量に近い値を算出するツールの導入を目的とします。

【方法】

身長・体重(BMI)から、患者さんを3区分に分けて検証します。

それぞれ体の構造(背中から心臓までの距離)から被ばくしうる皮膚の場所を想定します。

想定された位置が過剰に被ばくをしていないか判別ができるようにします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

※試料…血液、組織、細胞、体液、排せつ物などヒトの体の一部

情報: 性別、身長、体重

4. 外部への試料・情報の提供

外部への試料・情報の提供はありません

5. 研究組織

この研究は当院のみで実施されます

6. 個人情報の取扱い

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び試料や情報の提供先である渥美雄介が責任をもって適切に管理いたします。

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

浜松医療センター 診療放射線技術科 渥美雄介(研究責任者)

住所: 静岡県浜松市中央区富塚町 328

電話: 053-453-7111(病院代表)